

提言(案)「II 重層的支援体制について」の概要説明資料(たたき台20210122時点)

地域で顕在化してきた課題	
1	引きこもりやごみ屋敷、多頭飼育崩壊などの複雑・複合化した事例の増加
2	複雑・複合化した事例は、本人、家族が支援に拒否的であることや、家庭内に潜在していることでの課題の深刻化
3	課題に直面する地域住民が相談先が分からなかったり、関わることへの負担感等

上記を受け止める
支援側の課題

支援における課題	
1	課題の深刻化、複合化による支援の長期化、困難化
2	課題を把握した支援機関ごとに対応することにより ① 調整への負担感や情報共有等の課題から十分な連携が図られない ② 対応する制度が無いことなどを理由に課題が見逃されるといった可能性
3	分野だけでなく個人や世帯のライフステージの連続性を意識した情報共有、連携による切れ目のない支援の必要性
4	相談を受け止めるための包括的な視点でアセスメントのできる人材の確保・育成
5	個人の価値観やニーズの多様化が進み、分野ごとの公的サービスでは十分な課題解決が図られない場合も多く、 ① 支援における分野を超えたサービスの相互利用や
6	② 当事者や家族のニーズに対応する社会資源の把握や新たな社会資源の開拓・開発の必要性
7	当事者や家族の生活基盤を支える地域資源や市社協、民生児童委員等の活動資源との協働していくための行政における地域を支える体制の構築

尼崎市の強み	
1	南部・北部保健福祉センターや子ども育ち支援センター「いくしあ」を中心とした各福祉分野における支援のネットワークの充実
2	市社協や地域包括支援センター等の相談支援機関と民生児童委員等との連携による地域における相談を受け止める裾野の広がり

尼崎市の強みを最大限に活かした
包括的相談支援体制の構築

方向性	
分野間のさらなる連携による包括的な支援体制の構築	

提言の概要	
<p>【II-1】 基幹的機能による包括的な相談支援体制の構築</p> <p>各分野の支援調整機関の役割や機能を集約・整理し、庁内連携の中核として課題解決に向けた分野的かつ複合的な役割・機能を果たす基幹的機能の構築 (基幹的機能イメージ)</p> <p>① 相談機能:様々な相談を包括的に受け止め、必要に応じてアプリーチを行うことにより、課題が深刻化する前の早期把握と早期支援につなげる機能 ② 支援調整機能:関係部局等の情報の集約、支援機関等をつなぐネットワークの形成、チームによる支援体制の編成 ③ 役割や支援の方向性を整理するコーディネート機能 ④ 権利擁護機能:当事者の声に寄り添い、必要に応じて措置等の権限行使し、解決につなげることのできる機能 ⑤ 人材育成機能:【提言II-3】を参照 ⑥ 情報共有機能:【提言II-4】を参照</p> <p>ネットワーク機能:福祉課題等を市行政内外の専門機関等が共有し、課題解決に向けて協議するネットワーク構築</p>	<p>【II-3】 包括的な相談支援体制を支える人材の育成</p> <p>多機関協働による支援を提供するための専門性や、様々な分野の幅広い知識、経験をもつ人材の育成</p>
<p>【II-2】 地域住民・支援機関のネットワークを支える体制づくり</p> <p>○ 地域に潜在化する複雑・複合化した課題を抱えた個人や家族の早期把握と支援や ○ 地域住民や支援機関等の様々な活動主体が課題を共有し、解決に向けて活動するためのネットワークを支える体制の構築</p>	<p>【II-4】 包括的な相談支援体制を支える情報共有の仕組みづくり</p> <p>支援機関や支援者、地域住民との協働を進めるために、支援に必要な情報を適切かつ円滑に共有する仕組みづくり</p>

具体化に向けた提言

制度の統割りの課題

協働の課題